

受験 番号	
氏名	

問題一 次の文を読み、後の設問に答えなさい。

「ことば(言語)ってどんなものなの？」という質問をするとどんなことが思い浮かぶだろうか。【A】、真つ先に思い浮かぶのが、私たちはことばを使ってコミュニケーションを行っているということではなからうか。それでは、コミュニケーションってどんなものだろうかと尋ねたら、「決まっているじゃないか、お互いが持っている(む) ジョウホウを(お) 伝達しあうことじゃないか」という答えが出てくるかもしれない。【B】、ことばを使ってコミュニケーションを行うということは、ことばの重要な一つの(き) ソクメンではある。【C】ここで、ちよつと立ち止まって考えてみたい。【D】根本的な(く) ギモンとして、どうすれば私たちにコミュニケーションという(む) 芸当ができるようになるのだろうかと考えてみよう。おそらく、そうすると、ことばの本質に少しは迫ることができるのではないかと思われる。

(A) ことばを使ってコミュニケーションをするためには、話す人と聞く人の間でちゃんとことばが理解できないければならない。そうするには、ことばの約束事【E】、どのような言葉で、どのような意味が伝わるかが聞く人と話す人の間でちゃんと(む) 共有されていないといけない。ことばの約束は何かというと、単語を組み合わせて自分の思っていることが伝えられる文を作る規則のことで、(B) これを一般に「文法(grammar)」と呼んでいる。もし、このような文法が(む) 話者の間で共有されていないと、言いたいことが正確に伝わるはずもなく、ことばによるコミュニケーションは成り立たない。こう考えてみると、文法がことばの根本的な部分をなしているものであるということがわかるのではないだろうか。

(C) ここで考える「文法」は、「自然言語(natural language)」と呼ばれる私たちのことばの文法で、(C) 人工的に作られた言語の文法ではない。私たちのことばの文法は、「学校文法」(つまり、学校で教えられている「英文法」とか「国文法」)とはちよつと違う(お) 代物であることを(け) ニンシキしてもらいたい。学校で習う文法は、なにか難しい活用とか規則を教えられるものというイメージがあるかもしれないが、本来、私たちが話すことばの規則(文法)というものは、知らず知らずのうちに私たちが身につけているものである。(ま) 時に、学校文法では、規範的に「文法はこうあるべきだ」ということが教えられ、(B) 必ずしも私たちが実際に話したり書いたりしていることばの文法を反映したものとはなっていないことも多い。ここで考える「文法」は、そういうものではなく、人間が頭の中に本来持っているものを指す。ことばを聞いたり、しゃべったりすることを可能にしているものは、脳の機能の一部であると考えられ、これは、時に、「言語能力(Language Faculty)」とも呼ばれる。この人間の言語能力がどんなものかを説明するということが、「生成文法(generative grammar)」と呼ばれる文法理論の目指す目標の一つとなっている。一言で言うと、人間がことばに対して持っている(ニ) チョツカンを説明するために、生成文法は、頭の中に備わっている文法がどうなっているかという(ニ) ことを説明しようとしているのである。

(岸本秀樹『ベーシック生成文法』による。ただし一部省略した)

問一 傍線部あーおの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

あ 伝達 い 芸当 う 共有 え 話者 お 代物

問二 傍線部かーこのカタカナを適切な漢字に楷書で直しなさい。

か ジョウホウ き ソクメン く ギモン け ニンシキ こ チョツカン

問三 本文中の空欄AからEに入る最も適切な語句をそれぞれ次の中から選び、番号で答えなさい。
①もちろん ②つまり ③しかし ④もつと ⑤まず

問四 傍線部A「ことばを使ってコミュニケーションをするためには、話す人と聞く人の間でちゃんのことばが理解できなければならぬ」とあるが、それはなぜか。その答えとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① コミュニケーションにはそもそも気遣いが必要だから。
- ② コミュニケーションを取るための約束事を破ると嫌われてしまうから。
- ③ コミュニケーションの約束事を破ることは社会通念上許されないから。
- ④ コミュニケーションの約束事が互いに共有されていないと意味が通じないから。

問五 傍線部B「これを一般に「文法(grammar)」と呼んでいる」とあるが、本文中に言う「文法」とはどういうものか、本文中の言葉を使いながら簡潔に説明せよ。

問六 傍線部C「人工的に作られた言語」とあるが、自身が知っている人工言語の例を一つ挙げよ。

問七 波線部A「時に」とあるが、この言葉の意味として最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① ある特定の時間
- ② 時々起こること
- ③ 常に起こること
- ④ 一度だけ起こること

問八 波線部B「必ずしも」とあるが、この言葉を用いて意味が通るように適宜作文せよ。

問九 「学校文法」の問題点はどのようなものが挙げられるか。本文中の言葉を用いながら、簡潔に説明せよ。

問十 「学校文法」と「生成文法」の違いを本文中の言葉を用いながら簡潔に説明せよ。

問題二 次の各文の二重傍線部の語句の品詞名を番号で答えなさい。

- イ これは簡単だ。
ロ この子供は賢い。
ハ このケーキは甘い。
ニ このクッキーはまずい。
ホ 今日は雨が降るようだ。
ヘ テストで良い点を取る。
ト 明日、友達と遊ぶつもりだ。
チ できるだけゆつくり話すようにする。
リ わあ、こんな大きなヒザ初めて見た。
ヌ 敵軍がやつて来て、そして街を破壊した。

- ① 動詞
② 形容詞
③ 形容動詞
④ 名詞
⑤ 連体詞
⑥ 副詞
⑦ 接続詞
⑧ 感動詞
⑨ 助動詞
⑩ 助詞